

## くれあ通信 6月号

五月一日から十三日まで東京ビックサイトで情報産業にまつわる様々な展示会が行われました。「クラウドコンピューティングEXPO」「情報セキュリティEXPO」「組込みシステム開発技術展」など、十一もの展示会が同時開催されました。この展示会は春と秋にそれぞれ東京ビックサイトと幕張メッセで行われ、情報産業業界にとっては恒例の展示会となっております。

今年には震災の影響もあり、出展そのものを自粛する企業もあるなか、展示会そのものは大変盛況だったようです。かくゆう私も十一日の初日に雨の中、行って参りました。

今回から初めて導入されたと記憶していますが、事前アポイントシステムというのがありました。私の場合、昨年の秋の展示会も行ってきていて、その流れで事前アポイントシステムの利用を薦められました。このシステムは、自分のニーズを書き込んでおくと、展示会出展者が提案かたがたニーズを書いた人とアポイントを取るというもので、個人的にとっても重宝しました。決して強制ではないため使いやすく、展示会でも多くの良い商談ができました。秋も積極的に使っていいと思います。



## 朝霞紹介



朝霞にはもう一人、驚くほど有名な方が住んでおりました。それはあの尾崎豊さんです。尾崎豊さんが朝霞に住んでおられたということは地元ではとても良く知られた話です。

尾崎豊さんはあまりに伝説的なので、多くを語る必要もないと思いますが、彼のご両親が朝霞に住まわれてからというもの、尾崎さんが朝霞をこよなく愛されていたであろうことが色々なお話からうかがいしれます。彼の詩にも朝霞を綴ったものがあるそうです。

朝霞という街は坂も多く、朝霞駅と朝霞台駅はそんな坂の起伏に挟まれています。尾崎さんはそうした坂下に住んでおり、坂を登って駅に向かうように、人生の階段を上へ上へと登っていった彼の姿は、まさに若者の憧れでした。そんな彼のバックボーンが朝霞にはあるのです。



## 映画紹介

### 『吸血鬼』

古典映画の吸血鬼といえばムルナウの『吸血鬼ノスフェラトゥ』か本作でしょう。たまたま先日アテネフランセで上映していたので観に行きました。ドライバーは1作1作を違った切込み方で作品作りをすることで有名ですが、彼の著名な『裁かるゝジャンヌ』と比較すると、全く違った試みに満ち溢れていることがよくわかります。全体を夢のごとく演出するための光の操作やこれでもかというほど執拗な影の演出。そして観る者をうならせるほど

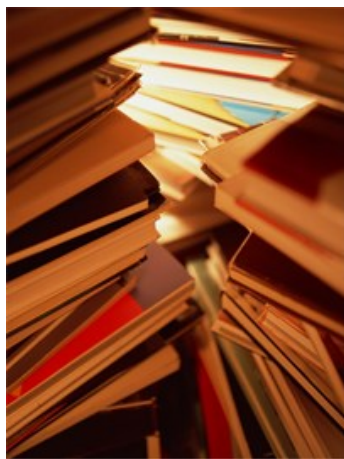
の音の演出の妙。どれをとっても30年代初頭の映画とは到底思えないほど念入りによく作りこまれており、圧巻としか言いようがありませんでした。棺桶からの主観ショットは実に見事で、太陽光の輝きと映画全体の暗さの相対が印象的でした。

吸血鬼  
Vampyr  
1932

Director: Carl Theodor Dreyer  
Writer: Carl Theodor Dreyer  
Christen Jul  
Cast: Julian West



## 書籍紹介



### 『プリンセストヨトミ』 万城目学

鴨川ホルモー、鹿男あをによしで有名な著者の作品で、最近映画が公開された話題作です。

五月末日の木曜日、午後四時のことである。大阪が全停止した。長く閉ざされた扉を開ける“鍵”となったのは、東京から来た会計検査院の三人の調査官と、大阪の商店街に生まれ育った二人の少年少女だった—

大阪が全停止。素晴らしいテーマです。いったいどういうことが起こるも

のか、期待せずにはいられない内容です。映画化を意識してなのか、ヴィジュアル的に映えるような描写が多く、それを表現するための説明が長くなることで小説全体のリズム感を損なっているような感覚を抱きました。しかしながら、過去の小説の登場人物を脇役で出したり、ユニークな会話など、壮大なテーマを備えつつもキャラクター重視で展開していくストーリーは読みごたえがあります。シンプルにエンターテインメント小説を楽しみたいときにおすすめです。

# Crea

コンピューターソフトウェアの企画、開発なら株式会社クレアへ